

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 03 02	中期総合計画主要施策番号		3-11,5-09		担当課	部・課	建設部 道路管理課		
事業名		舗装補修事業・沿道環境改善事業 (公共【道路管理】)				内線		3398			
						E-mail		michikanri@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	・路面損傷が著しい箇所において舗装補修を行い、道路利用者の安全な通行を確保する。あわせて、騒音が環境基準を超える人家連坦箇所は低騒音舗装を施し、自動車騒音等を低減させ沿道の環境改善を図る。									
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・道路の舗装について日常的な維持修繕の対策は講じてきているものの、舗装の損傷が著しい箇所については安全な通行の確保のため抜本的な対策が必要になっている。また、人家が連坦する道路の沿線において自動車の騒音が環境基準を超える箇所があり、沿道の環境改善が必要となっている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・道路の舗装は、長期にわたる交通荷重による舗装の損傷のほか、近年の大型交通量の増加や気象条件等により、さらに舗装の損傷が進行してきている。また、これらの要因により、人家連坦箇所において自動車騒音がひどく沿道における環境が悪化している状況が発生している。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・交通量が多く道路の舗装の損傷が重度である箇所において、現況交通量等を勘案して舗装の補修を行うことにより、道路利用者の安全な通行を確保する必要がある。また、騒音測定値が環境基準を超える箇所において低騒音舗装を行い沿道の環境改善を図る。									
		事業内容	県管理道路の舗装の補修をする。 補助率:【国】5.5/10 【県】4.5/10 騒音を低減するため低騒音舗装を敷設する。 補助率:【国】1/2 【県】1/2								
		実施期間	H11 ~		根拠法令等 道路法						
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
舗装補修を実施し、道路利用者の安全な通行を確保する。また、低騒音舗装を敷設し、沿道の環境改善を図る。		交通量が多く舗装の損傷が重度の箇所および環境基準を上回る箇所について、必要な箇所14.0kmを実施すること。			舗装補修を16.6km実施し、引き続き道路利用者の安全な通行を確保した。また、低騒音舗装を3.9km実施し、沿道の環境改善を図った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下				
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円	530,000	998,000	731,000	国庫・県単	公共			
	決 算 額 (B)		千円	561,630	815,239		実施方法	直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	169,626	406,724	95,006	歳出節別内訳等	H20予算現額(最終予算額+繰越額) 1,026,370 千円			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.40	3.00	4.00	(単位: 千円)	1箇所当り平均工事期間 3.0 年			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	561,630	815,239	731,000					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	安全が確保された延長(箇所)		km(箇所)	6.5(8)	16.6(18)	8.0(9)					
	環境改善された延長(箇所)		km(箇所)	3.1(3)	3.9(5)	4.0(6)					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・舗装損傷に対する安全性及び走行性の低下について補修に対する要望が依然多い。 ・騒音、振動等沿道住民からの要望が依然高い。 ・道路法により県が行うものとされている。 ・事業効果の早期発現のため、重点的、効率的に実施している。				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
課題の総括		・交通量の多い箇所や人家連坦地域での実施のため、周辺住民及び道路利用者への影響や事業効果の早期発現のため、一層の重点化、新工法の導入等によるコスト縮減などを常に検討し、効果的で効率的な整備に努める。									